



01 PLANNING



世田谷ベースに向かって右側 小屋があったところに 新しい司令室を建設しよう!!

畑と世田谷ベースの建物との間、そこを増築に与えられたスペース。約20坪という小さな場所ですが、そこで、限界まで効率を重視した設計を。世田谷ベースの増築プロジェクト開始します!!



読者の皆様は、きっとココにF150が停まっているシーンを想像されるのでは? 5メートル越えのどかいクルマが余裕で収まるスペースの後ろには、農機具を入れる小屋がありますが、これは畑の中に移動。ここに、新しい世田谷ベースが建つのです。

世田谷ベースを増築する デイトナハウスとは!?

デイトナハウスを構成するのは、LGS と呼ばれる軽量鉄骨のパネル。『C チャンネル』と呼ばれる部材を、横幅80cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、『ブレース』と呼ばれる筋交いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。『柱』と『梁』と呼ばれる柱と梁の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。詳しい説明は後述にて!



今回、増築の為に用意したスペースは世田谷ベースと畑の間にある、縦8メートル、横3・5メートルの約20坪というスペース。農機具を収めている小屋が置かれ、その前にクルマが一台停められるようになっていく。あの場所。です。

そこに、既存の建物とくっつけるような力タチで新たに建物を作り、一階と二階をぶち抜いて連結。室内空間をグッと拡大しようという魂胆なのであります。

世田谷ベースは、もともとアメリカの郊外にある小さな民間飛行場をモチーフに設計されています。建物の前に走る道は滑走路で、建物は飛行場の片隅にあるガレージという設定。そんな環境の中で増築するとなれば、やっぱり格納庫的な雰囲気が必要不可欠。

格納庫で使用する為に米軍が開発したRスパンの屋根を使用し、内装には骨格を露出させて……。オトコっぽくて無骨な雰囲気は、今までの世田谷ベースには無い新しいイメージです。



外壁に合わせてシャッターもシルバーに、倉庫ではオーパーツカラーを使用しています。また、外壁にはラッピングシャッターが上がってきてしまうので、せっかく倉庫では実用性の高いメッシュが有効活用できるかなと思ってしまっています。なので、増築部分のシャッターは巻き上げ式に、サイドビューは、ラウンドした屋根と外階段＆ベンダのバランスが良さそう。



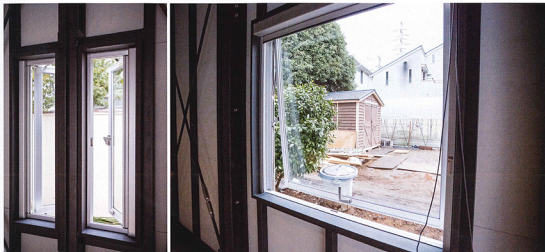
06 FINISH

祝 完成!!
世田谷ベース10年振りの大改造
増築プロジェクト
建築部門はコレにて終了!!

増築部分の完成が、ついには増築部分が完成しました!! 一体中
身ほど気持ちに仕上がっているのだから、やっぱり気持ちになりますよ
それでは、グレイズとなる一層部分を置いてみましょう!!



天井の骨格、壁の骨格のみ、断熱を施して、
仕上げは白く清潔な印象に仕上げました。
シンプルながらも、個性あふれる空間です。



なるべく明るく、そして、風通しの良い環境を作りたいということで、大きな窓も、シャッターを閉ければ全面に開口部ができるので、一気に換気ができるので、一気に換気ができるので、一気に換気ができるので。



内側から両面壁に吊り下がる照明、一
階にエアコンが入っていないけれど、前
期工事の間に空調機を吊り下がる照明
をつけて、冬場でも作業ができるよ
うにしたいのだから、エアコンが二階と一
階の間に吊り下がる照明で換気できるス
ペースが確保されています。



上を見上げても
鉄骨と筋交いが
ひたすら連続する
独特な光景

天井の骨格の上に見える
黒いパネルはコンクリート
製。その上には防霉性
素材をしっかりと塗るの
で、防霉から上層の空
気をしっかりとシャットア
ウトしています。骨格となっ
ている鉄骨は、すべて
パウダーコーティングされ
ているので、錆びる心配
もありません。

天井の骨格の上に見える
黒いパネルはコンクリート
製。その上には防霉性
素材をしっかりと塗るの
で、防霉から上層の空
気をしっかりとシャットア
ウトしています。骨格となっ
ている鉄骨は、すべて
パウダーコーティングされ
ているので、錆びる心配
もありません。